

観光クラウドWG ビジネスSWGの進め方と方向性 (案)

ソフトバンクテレコム株式会社
観光立国・地域活性化推進担当
廣場 啓祐

keisuke.hiroba@g.softbank.co.jp



・ 目的

- 多言語観光情報をICTを活用し効果的に継続配信する方法を検討する。
- 産学官の連携により継続維持できるプラットフォームを検討する。
- デジタル・コンテンツの流通を促進する為の課題を整理する。

・ 目標

- **公的資金に依存する一過性の事業から事業継続及び新規事業に繋げる財源捻出モデルを作り、デジタル・コンテンツの流通を促進する。**

・ 開催方法

- 小人数制でブレインストーミングでの会議を実施。
- 参加メンバーの実体験を共有し課題の抽出と解決策を検討する

・ 開催頻度

- 月1回程度

・ 開催場所

- 未定(当社あるいは持ち回り制)

・ 目指す成果物

- **ICTを活用した観光分野における利活用集の作成**
- **事業継続の課題を抽出し解決に向けた役割分担をまとめる**

・ 事務局

- ソフトバンクテレコム株式会社 観光立国・地域活性化担当 廣場 池田 中川

訪日喚起、受入整備、実態調査、実データを基に 観光施策の立案



① 観光客の様々なシーンにおけるICTの利活用を検討

安全、安心、快適な新しい旅のスタイルをICTを活用し演出。

② 国内事業者の様々なシーンにおけるICTの利活用を検討

観光客とのコミュニケーションをサポートし、観光消費の機会を創出

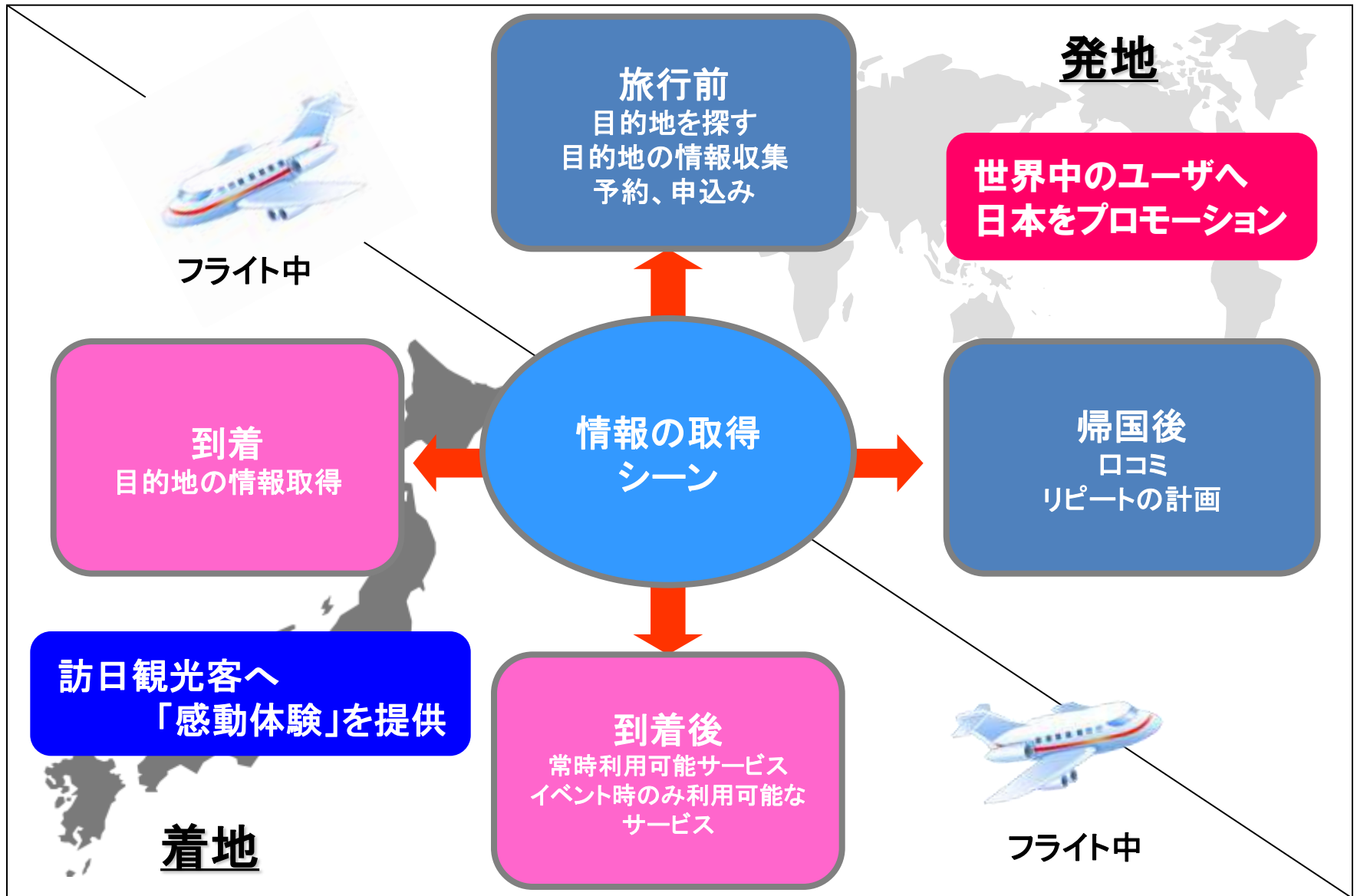
③ プラットフォームの維持費の捻出方法について検討

地域の魅力を発信する地域事業者が主体となれるビジネスモデルの確立

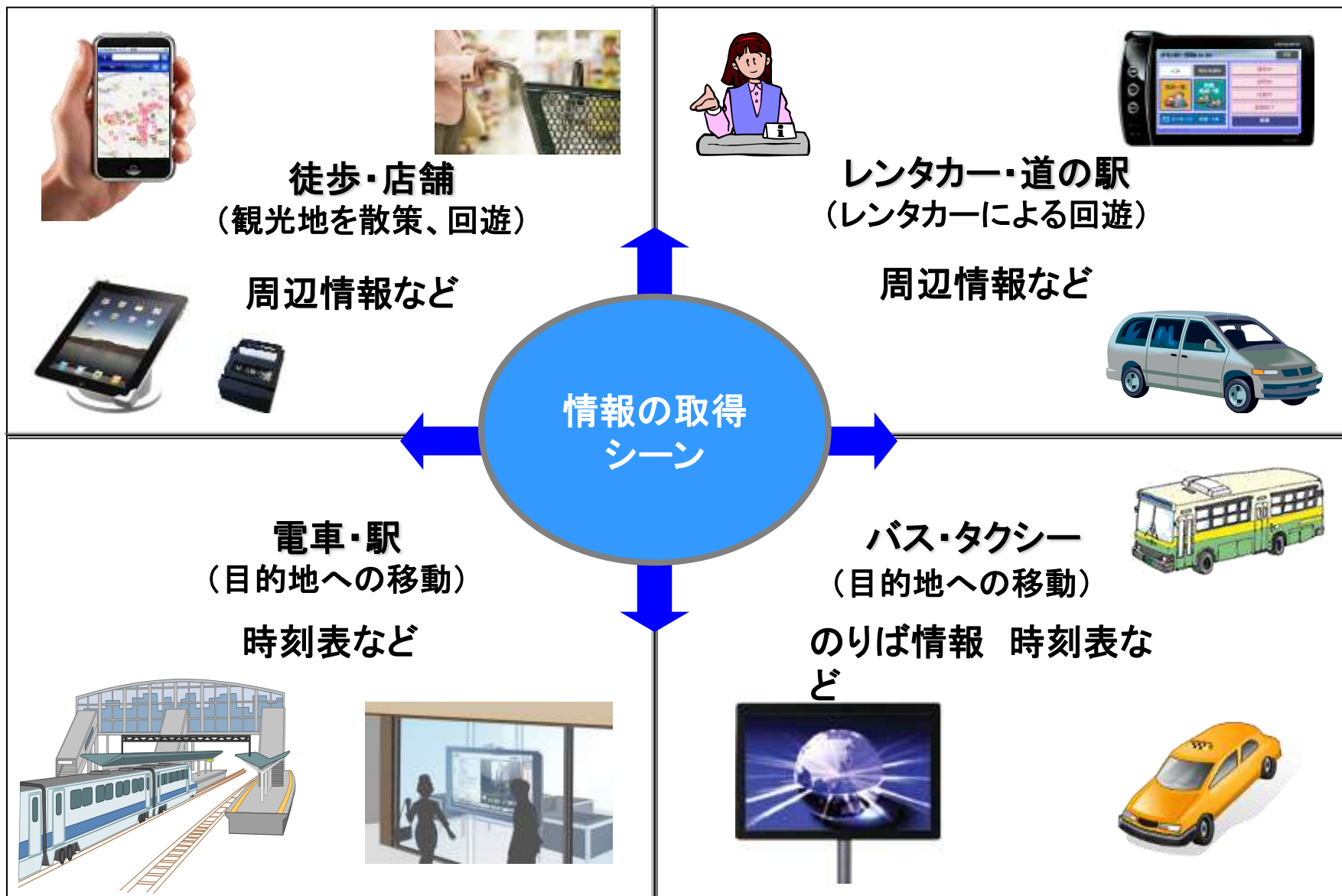
④ 新規事業における産学官の役割分担の検討

一過性の事業に留まらず、構築した資産を民間事業者が活用するモデル

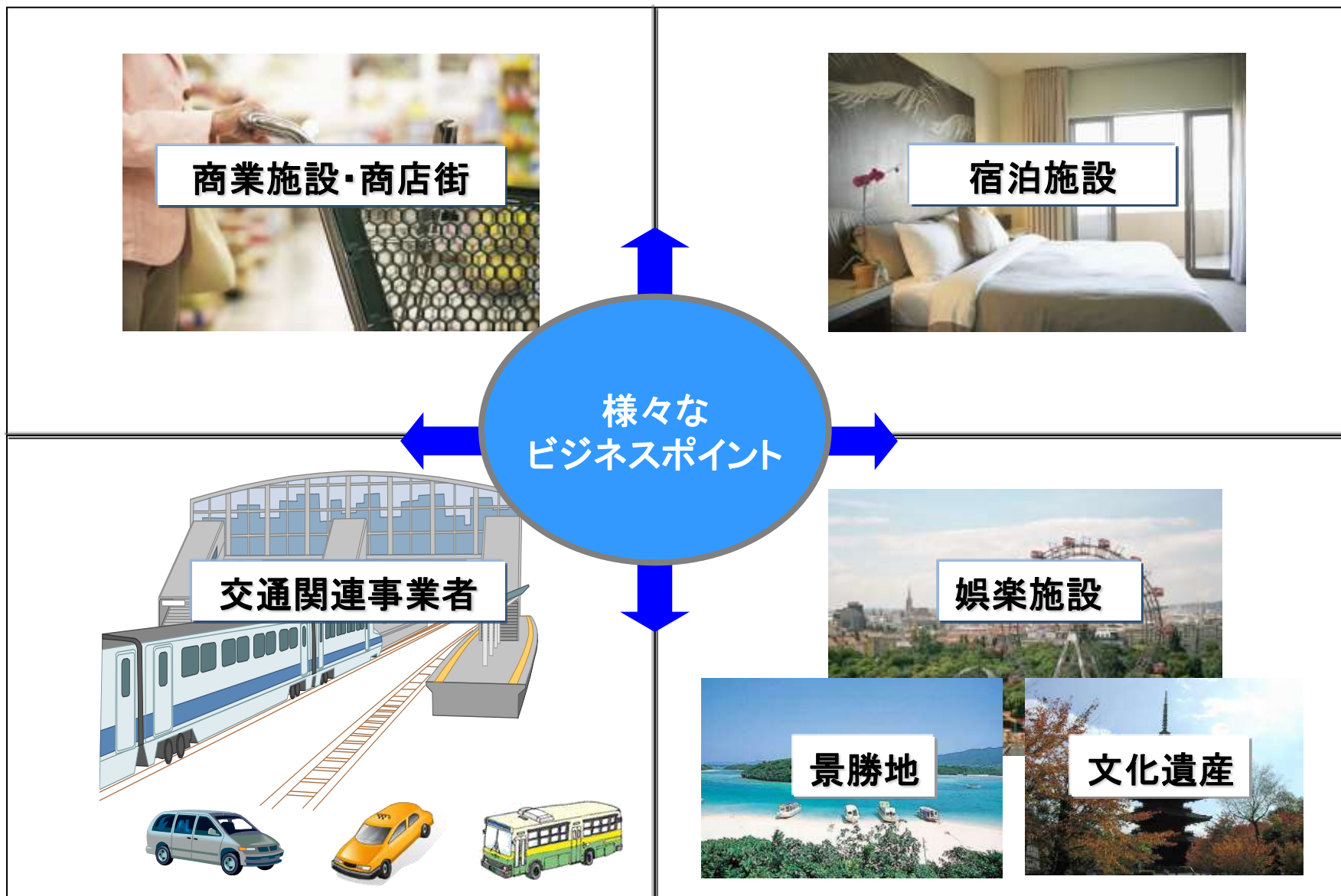
① 観光客の様々なシーンにおけるICTの利活用を検討



① 観光客の様々なシーンにおけるICTの利活用を検討



② 国内事業者の様々なシーンにおけるICTの利活用を検討



外国人観光客に 効果的なプロモーション

観光のICT化
により
国内の魅力を
発信

国内外の旅行代理店



日本の魅力を提供
パッケージ
航空券・宿泊施設
観光客の誘客

地域事業者

地域の魅力を提供
景勝地やテーマパーク
店舗情報
消費を促す情報提供

広告代理店

日本の魅力を発信
クロスメディアを活用、
歴史、文化、食の紹介
観光客の誘客

ICT事業者

快適な通信環境づくり
コミュニケーションツールの提供



主役は地域主体者

リージョナル
コンテンツホルダー

デジタル・コンテンツの流通を促進

地域主体者が事業継続できるビジネスモデルが必要

<参考>いつでも、どこでも情報取得可能な環境づくり



世界のネット環境が変われば、旅のライフスタイルも変わります。

③ プラットフォームの維持費の捻出方法について検討

- インバウンドビジネスで、潤っている企業は非常に少ない
- 外国人観光客の対応で困っている事業者が少ない
- 外国人観光客の受入整備に対して、行政側と事業者側のギャップはまだ大きい。



観光消費額は、
国内観光客で支えられている

多言語による店舗情報を費用負担をして掲載する
顧客は少なく、システム維持費を捻出する事が難しい

特定事業者(大型電器店、化粧品、アウトレットモール、ブランド品など)
には恩恵があっても、一般事業者には恩恵がない。

地域ポータルサイトの掲載価値を高め、オプション
として、多言語情報を配信するスタイルが望ましいが
大手ポータルサイトとの差別化が厳しく多言語情報
の配信まで余力がないのが現状である。

インバウンドビジネスの成長は確実に見込まれるが
しばらくは、翻訳費用など行政支援が必要では……

